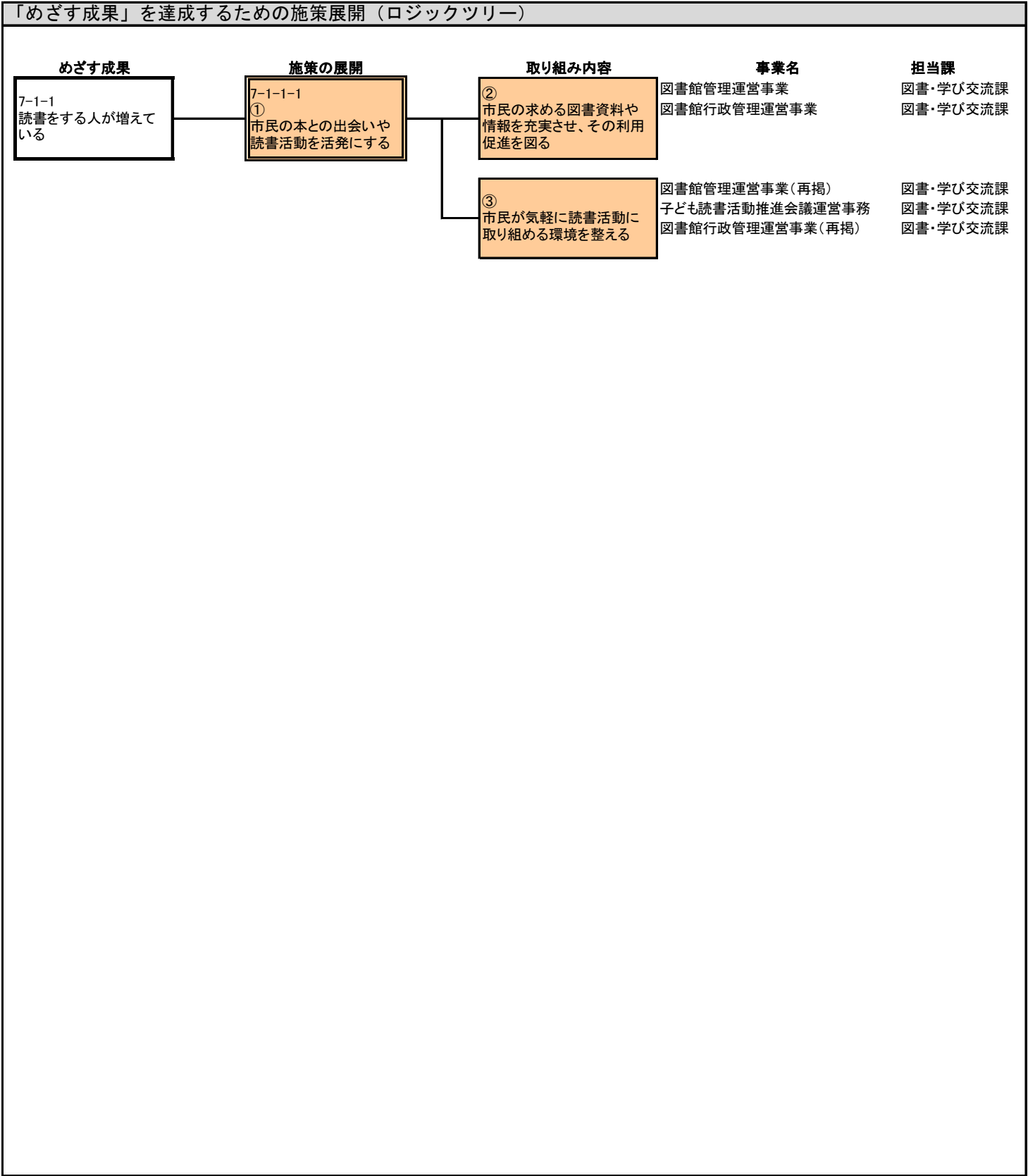


令和４年度施策評価（一次評価）		
健康領域	社会の健康	
基本目標	7	豊かな心と感動が広がるまち
個別目標	7－1	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する
めざす成果	7－1－1	読書をする人が増えている
	7－1－2	学びに関わる人が増えている

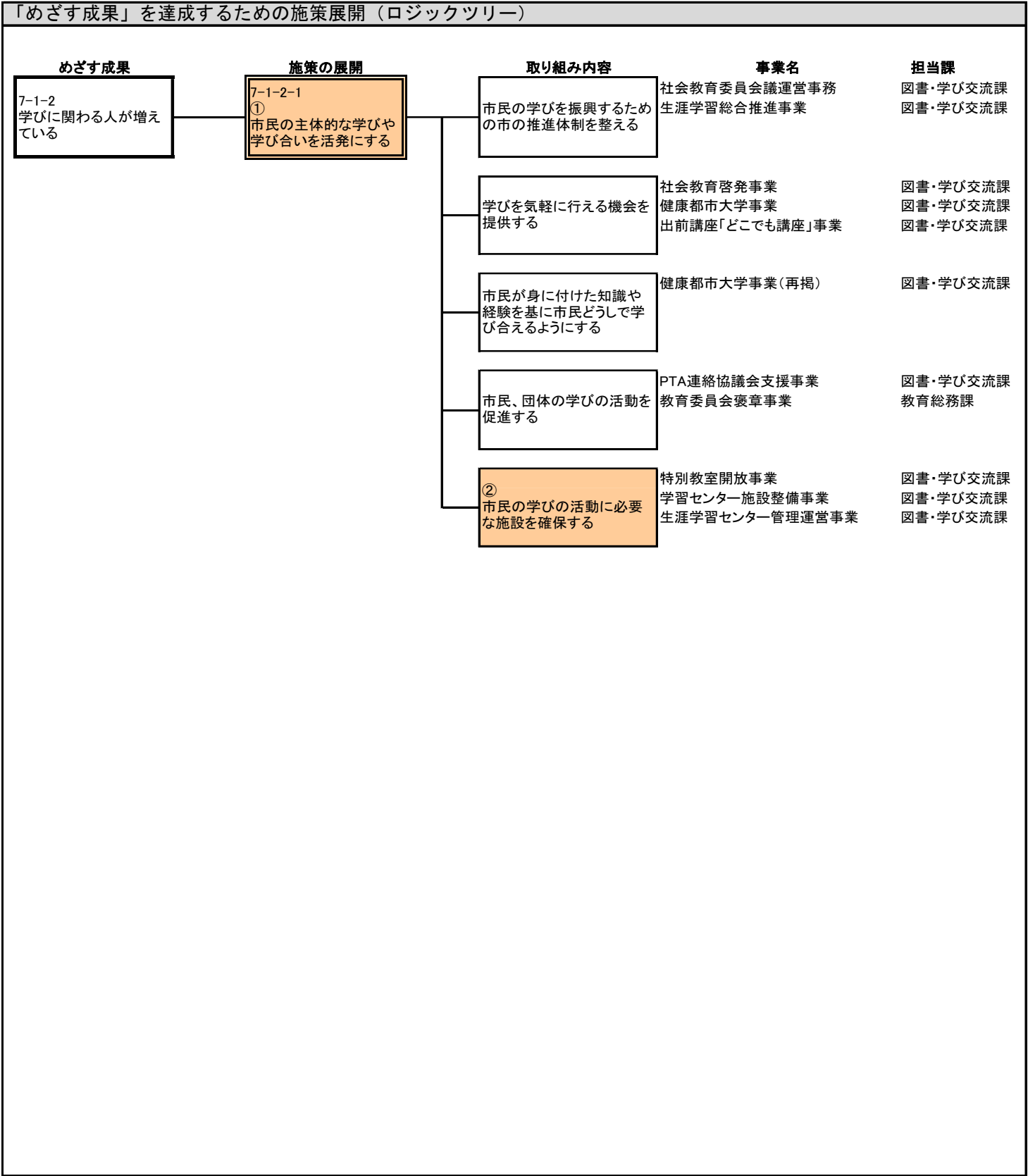


(単位：千円)				
◎所管部長：文化スポーツ部長 大下 等				
総事業費 (予算)	H31 (R1) 565, 733	R2 587, 183	R3 591, 280	R4 595, 063

成果を計る主な指標		前期基本計画期間（R1～R5年度）					
		計画当初値	実績値 （R1）	実績値 （R2）	実績値 （R3）	中間目標値 （R3）	最終目標値 （R5）
①	市内図書館の年間来館者数	3,053,751人	4,002,361人	1,922,640人	3,010,193人	4,094,700人	4,177,000人
②	市民1人あたりの年間図書貸出冊数	5.39冊	5.51冊	4.38冊	5.84冊	5.68冊	5.85冊
③	図書館や保育所などのおはなし会の延べ参加者数	3,103人	3,568人	1,470人	2,392人	3,310人	3,420人

これまでの成果	【市民の本との出会いや読書活動を活発にする】 ■指定管理制度の活用により、民間のノウハウを活かした図書館運営を行うと共に、図書館運営に必要な図書館システム等のインフラ整備を行いました。新型コロナの感染拡大に伴い、初めて長期に渡る休館期間が生じたことから、令和元年度に400万人を越えていた図書館3館の来館者数は、令和2年度は減少に転じました。令和3年度は、感染予防対策を徹底しながら開館し、来館者数は回復傾向にあります。 ■図書除菌機の増台等による図書館内の新型コロナの感染防止対策を進め、安心して読書活動に取り組める環境を整えたことや、おうち時間の増加に伴う読書ニーズの増加により、図書館の来館者数は減少しながらも、令和3年度の市民1人あたりの年間図書貸出冊数は新型コロナの流行前よりも増加しました。 ■鉄道駅やショッピングモールなどへの図書返却ポストの増設を進め、市内の返却ポストは17箇所となりました。利用者の利便性が向上したことで、市民が気軽に読書活動に取り組める環境整備を進めることができました。 ■中央林間図書館の増床を行い(オープン時767.74㎡→R4.3.1より834.02㎡)、市民ニーズの高かった閲覧席を増席し、市民の利便性の向上に寄与しました。 ■令和3年度からは、指定管理者の更新により、市内すべての図書施設を一括で管理運営を行う体制を整え、一体運営のさらなる充実を推し進めることができました。
	【市民の本との出会いや読書活動を活発にする】 ■新型コロナの影響により、多くの市民が外出を控える中でも亚克力パーティションの設置等による感染防止対策を進めた結果、来館者数の減少をピーク時の75%程度に抑えることに繋がったと考えています。また、慢性的に閲覧席が不足していた中央林間図書館のフロアを拡充し、閲覧席を増席したことで、より多くの利用者が館内で読書することが可能になったと考えます。今後も、感染防止対策を万全にしながら、多くの市民の本との出会いの場となるべく、新しい生活様式に則した運営を進めていく必要があります。 ■新型コロナの感染拡大による開館時間の短縮や、来館者数減の影響がありながら、市民一人あたりの年間図書貸出冊数は伸長していることから、コロナ禍により市民の行動や生活様式に変化が生じた結果と考えます。今後は電子図書館の拡充を含め、変動するニーズに応えられる運営を進めていく必要があります。 ■おはなし会の延べ参加者数については、新型コロナの影響により減少し、目標値に届かない結果となりましたが、令和2年度と比較し、令和3年度は回復傾向にあります。引き続き感染症対策を整え、安心して参加してもらえるよう取り組んでいく必要があります。

令和４年度施策評価（一次評価）		
健康領域	社会の健康	
基本目標	7	豊かな心と感動が広がるまち
個別目標	7－1	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する
めざす成果	7－1－1	読書をする人が増えている
	7－1－2	学びに関わる人が増えている



◎所管部長：文化スポーツ部長 大下 等					
総事業費 （予算）		H31 (R1) 426, 911	R2 450, 547	R3 566, 391	R4 729, 170

成果を計る主な指標		前期基本計画期間（Ｒ１～Ｒ５年度）					
		計画当初値	実績値 （Ｒ１）	実績値 （Ｒ２）	実績値 （Ｒ３）	中間目標値 （Ｒ３）	最終目標値 （Ｒ５）
①	市民一人あたりの学習 センター来館数	４．７４回	８．６４回	２．２８回	５．７２回	６．１７回	６．４２回
②	講座等の受講者数	１２，５２３人	９，３９９人	３，２３６人	５，４４２人	１３，４００人	１３，９００人

これまでの成果	【市民の主体的な学びや学び合いを活発にする】 ■健康都市やまとMANAB I 計画（計画期間：令和元年度～令和5年度）に基づき、市民の自主的な学習を促すとともに、より多くの市民が学びに係る活動を行えるよう、どこでも講座事業、市立小中学校の特別教室開放事業、生涯学習センター管理運営事業、健康都市大学事業等を実施しました。 ■指定管理者による学習センターでの講座開催など、市民の学習意欲に応じて様々な学習の場を提供してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、公共施設の長期休館期間が生じたことから、成果を計る主な指標の令和2年度実績は、いずれも減少に転じました。 ■令和3年度は、徹底した感染対策を実施したことで、1年を通して市民へ学習機会を提供でき、ふたたび市民の学びの活発化に寄与できました。

成果に対する評価と課題	【市民の主体的な学びや学び合いを活発にする】 ■新型コロナの予防対策を全施設で徹底し、「安心して学習できる場」づくりに継続的に取り組んできたことが、市民一人あたりの学習センター来館数の回復に繋がったと考えます。 ■また、講座等の受講者数は、会議室の定員制限やワクチン接種会場利用に伴う講座の中止等もあり、中間目標値を大きく下回りましたが、従来の対面によるものに加え、オンライン等を活用するなど、コロナ禍でもできることを考え、実践してきました。 ■その結果、講座実施後に行うアンケートにおいては受講者の98%から「満足」または「非常に満足」との評価をいただくことができました。 ■コロナ禍においても、市民の継続的な学習機会が確保できるよう、デジタルディバイドの解消を目的とした取組を進めるとともに、従来の対面による講座にとらわれない様々な提供方法を指定管理者とともに検討していく必要があります。 ■さらに、「健康都市大学 月イチ学園祭」などの気軽に学ぶことのできる機会を増やしながら、学習の場の周知向上を目指した情報発信の拡大を図るなど、より多くの市民が気軽に学ぶ楽しさに触れ、その学びが継続されるよう努めていきます。

(単位：千円)

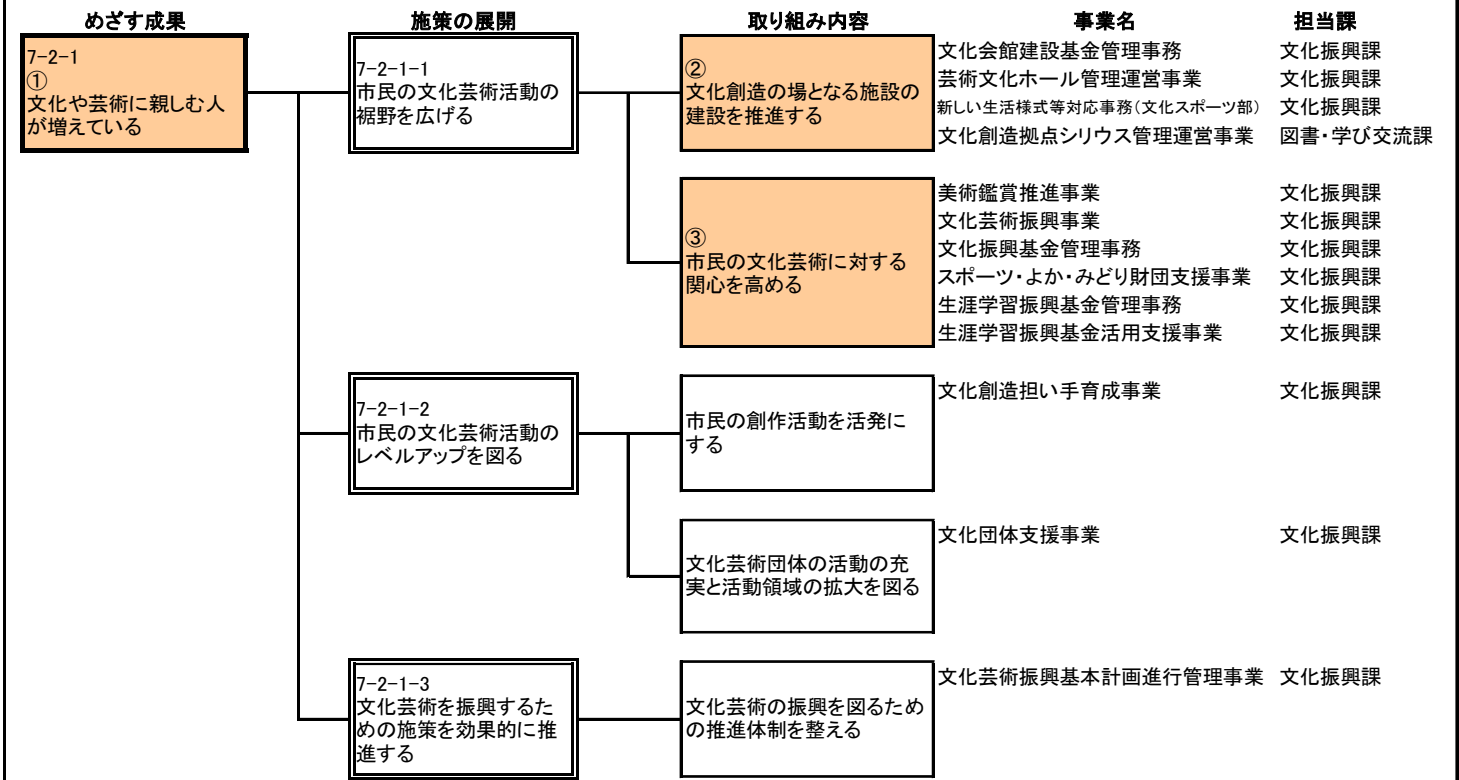
めざす成果		7－1－1		読書をする人が増えている			
主 要 な 事 務 事 業 の 内 容	事務事業名		R1決算額	R2決算額	R3決算額	R4予算額	
			法令等の義務	実施手法	財源構成		
	事務事業の目的						
	図書館管理運営事業		561,929	581,692	604,626	595,020	
			有	直営・指定管理	国・他・一財		
	図書館の円滑な管理運営を行います。						

めざす成果		7－1－2		学びに関わる人が増えている		
主要な 事務事業の内容	事務事業名	R1決算額	R2決算額	R3決算額	R4予算額	
		法令等の義務	実施手法	財源構成		
	事務事業の目的					
	健康都市大学事業	4,436	4,052	3,726	6,144	
		有	直営・指定管理	一財		
	学びを通した、市民の新たな居場所づくり、市民どうしの繋がり の 創出を図るとともに、市民の充実した学習環境を整備します。					
	生涯学習センター管理運営事業	394,494	408,020	328,882	326,697	
		有	直営・指定管理	他・一財		
生涯学習センターの円滑な管理運営を行います。						

【注釈】	<法令等の義務>	法律または政省令による事業実施根拠の有無				
	<実 施 手 法>	直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り				
	<財 源 構 成>	一財：一般財源	国：国庫補助金等	県：県費補助金等	市：市債	他：その他特定財源

令和４年度施策評価（一次評価）		
健康領域	社会の健康	
基本目標	7	豊かな心と感動が広がるまち
個別目標	7－2	薫り高い文化芸術を創造・継承する
めざす成果	7－2－1	文化や芸術に親しむ人が増えている
	7－2－2	郷土の文化がしっかりと引き継がれている

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



◎所管部長：文化スポーツ部長 大下 等

(単位：千円)				
総事業費 (予算)	H31(R1) 589,796	R2 588,291	R3 596,049	R4 574,279

成果を計る主な指標		前期基本計画期間（Ｒ１～Ｒ５年度）					
		計画当初値	実績値 （Ｒ１）	実績値 （Ｒ２）	実績値 （Ｒ３）	中間目標値 （Ｒ３）	最終目標値 （Ｒ５）
①	文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合	４５．７％			４８．２％	５５．５％	５９．５％
②	芸術文化ホール年間利用者数	３０６，０１８人	２２５，０６３人	４３，９３１人	１０４，５２０人	３１８，０００人	３２４，０００人
③	ＹＡＭＡＴＯ ＡＲＴ １００参加イベント数	１０３イベント	１０７イベント	４９イベント	５４イベント	１００イベント以上	１００イベント以上

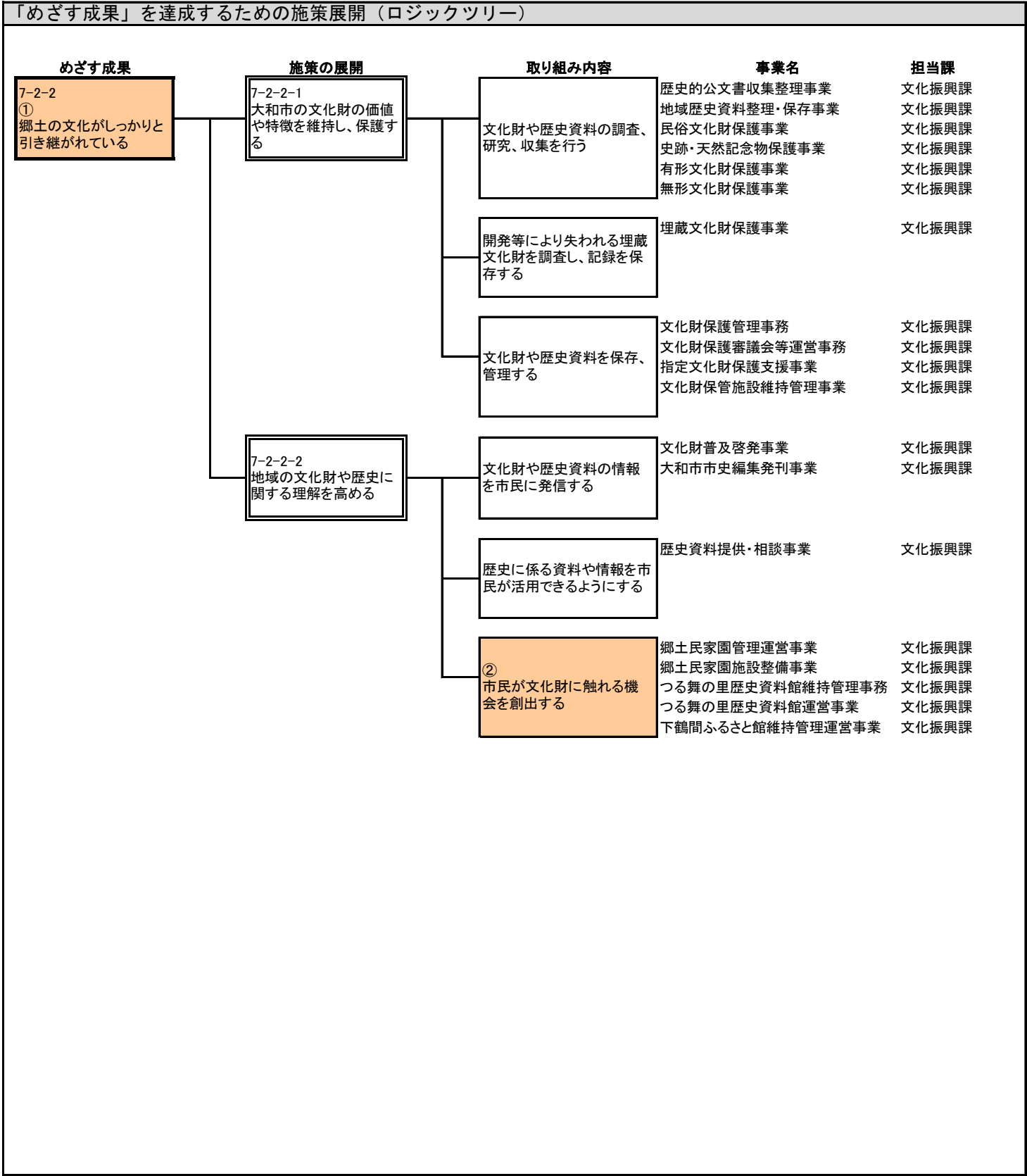
これまでの成果

【市民の文化芸術活動の裾野を広げる・市民の文化芸術のレベルアップを図る・文化芸術を振興するための施策を効果的に推進する】
■大和市文化芸術振興条例に掲げる基本理念「すべての市民が文化芸術に親しむことのできる環境づくり」を進めるため、文化芸術振興基本計画（第3期）（計画期間：平成31年度～令和5年度）に基づき、文化芸術振興事業や美術鑑賞推進事業、文化創造担い手育成事業などを実施しました。
■文化祭や文芸祭、イラストコンペ等の市民参加型の事業については、コロナ禍においても市民の創作意欲を低下させないため、毎年公募を行い、例年通りの応募数を確保することができました。
■「対話による美術鑑賞事業」や「やまと子ども伝統文化塾」などの子どもたちの文化芸術への関心を高める事業については、感染防止策を徹底して実施し、子どもたちの文化芸術に触れる機会ををできるだけ維持しました。
■やまと芸術文化ホールの稼働率は、新型コロナの感染拡大に伴う施設の利用時間や人数の制限等により減少はしましたが、感染拡大防止策を徹底し、安心・安全に利用できるよう努めるとともに、オンライン配信ができる環境を整備しました。
■YAMATO ART100について、コロナ禍ではイベントの中止が相次ぎ、特に、大規模イベントが実施できなかったことにより、イベント数・来場者数が大きく減少しました。
■令和元年に大和市文化芸術情報サイト「大和文化百花」を開設し、文化芸術団体紹介やイベント、施設など市内の魅力ある文化芸術情報の情報発信や、Instagram等を活用したSNSの取組みを進めました。

成果に対する評価と課題

【市民の文化芸術活動の裾野を広げる・市民の文化芸術のレベルアップを図る・文化芸術を振興するための施策を効果的に推進する】
■「文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合」は、新型コロナの感染拡大の影響を受け、計画当初値「45.7%」から「48.2%」の微増に留まっています。しかし、平成30年度の調査では、「60.2%」まで向上していたことから、やまと芸術文化ホールの建設（平成28年11月）により、市民の文化に対する意識は変化しているものと考えられます。
■新型コロナの影響により、SNSでの情報発信やオンライン鑑賞など、新たなツールが定着し、身近なものになりつつあることから、今後このようなツールを活用し、文化芸術を振興していくことが重要と考えます。しかし、SNS等の取り組みを引き続き進める一方で、パソコンやスマートフォンの操作が苦手な層が一定程度いることから、イベントの内容や対象等を勘案し、様々な方への情報提供ができる手法を選択していく必要があります。
■YAMATO ART100の参加イベント数は、新型コロナの感染拡大の影響により、大幅に減少しましたが、コロナ収束後には、イベント数及び来場者数が以前に戻せるよう、応募団体の増加に努めていきます。

令和４年度施策評価（一次評価）		
健康領域	社会の健康	
基本目標	7	豊かな心と感動が広がるまち
個別目標	7－2	薰り高い文化芸術を創造・継承する
めざす成果	7－2－1	文化や芸術に親しむ人が増えている
	7－2－2	郷土の文化がしっかりと引き継がれている



(単位：千円)					
◎所管部長：文化スポーツ部長 大下 等					
総事業費 (予算)	H31(R1) 59,828	R2 54,930	R3 71,584	R4 44,619	

成果を計る主な指標		前期基本計画期間（Ｒ１～Ｒ５年度）					
		計画当初値	実績値 （Ｒ１）	実績値 （Ｒ２）	実績値 （Ｒ３）	中間目標値 （Ｒ３）	最終目標値 （Ｒ５）
①	大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合	３８．３％			３８．４％	４３．５％	４５．５％
②	歴史文化施設の利用者数	５４，４４３人	４７，７６０人	３７，５１６人	５０，２８０人	６１，２００人	６１，２００人

これまでの成果

【大和市の文化財の価値や特徴を維持し、保護する】
■大和市の文化財の価値や特徴を維持し、保護するために、地域に所在する文化財や歴史資料に対する調査、研究、収集および保存を実施しました。また、埋蔵文化財保護事業では開発事業等に伴い失われる可能性のある遺跡を対象に試掘調査を実施し、発見された遺跡については出土品や記録を保存する本発掘調査の処置をとりました。これらの取り組みにより、文化財の価値が明らかになり、未来の市民へ継承する準備を整えることができました。
【地域の文化財や歴史に関する理解を高める】
■地域の文化財や歴史に関する理解を高めるために、全市民を対象として、『大和市史』関連書籍の刊行、各種文化財の展示・公開、歴史や文化財に関連した講座の開催、歴史資料や情報の提供等の事業を実施しました。特に、令和2年3月には市域の歴史の中でも特徴的な事柄や市制施行以降の年表をわかりやすくまとめた『大和市の歴史』を刊行し、また、令和4年9月の刊行を目指して市域で過去に起こった災害の概要とその対策をまとめた『大和市の災害史』の編集作業を行いました。展示や講座事業の成果を計る歴史文化施設の利用者数は新型コロナの影響により計画当初より落ち込んでいますが、令和3年度は感染症対策に配慮した事業を実施したことにより数値に回復傾向が見られます。これらの施策により、市民の郷土への理解・関心を高め、地域の歴史や文化を継承する準備を整えることができました。
■郷土民家園の市指定重要有形文化財・旧小川家住宅で令和2年度から実施されていた茅葺き屋根の全面葺き替え工事において、昔ながらの手法を目の当たりにできる二十数年に一度の貴重な機会を活用した見学会・屋根職人による講座・写真展等を開催するとともに、工事の様子を映像で記録しました。郷土の文化財の修繕を、生きた伝統と昔ながらの技法に触れる機会と捉えたことにより、参加者は郷土の昔の暮らしを体感することができました。

成果に対する評価と課題

【大和市の文化財の価値や特徴を維持し、保護する】
■地域に所在する文化財や歴史資料に対する調査、研究、収集および保存を実施したことにより、文化財の価値が明らかになり、失われた、あるいは失われつつある「郷土の文化」を未来の市民へ「しっかりと引き継ぐ」目標の実現に近づけたものと考えています。継承すべきは郷土の「文化」とその所産である「文化財」であるため、対象が幅広く業務量も多くなりますが、関連する事務事業の見直しを常に行い、効率的・効果的な業務の進捗に努める必要があります。
【地域の文化財や歴史に関する理解を高める】
■歴史・文化財関連書籍の刊行、各種展示・講座等の開催、歴史資料・情報の提供等を実施したことにより、市民の郷土への理解・関心を高めることができ、「郷土の文化」を「しっかりと引き継ぐ」社会意識を醸成することができたと考えています。新型コロナの影響下でも効果をあげることができるよう事業展開を工夫した結果、落ち込んでいた指標を回復傾向に持ち込むことはできましたが、引き続き郷土の文化を活きた姿で市民に向けて発信する工夫を重ね、歴史文化施設の利用者数を獲得することで、めざす成果の実現を図っていきます。

(単位：千円)

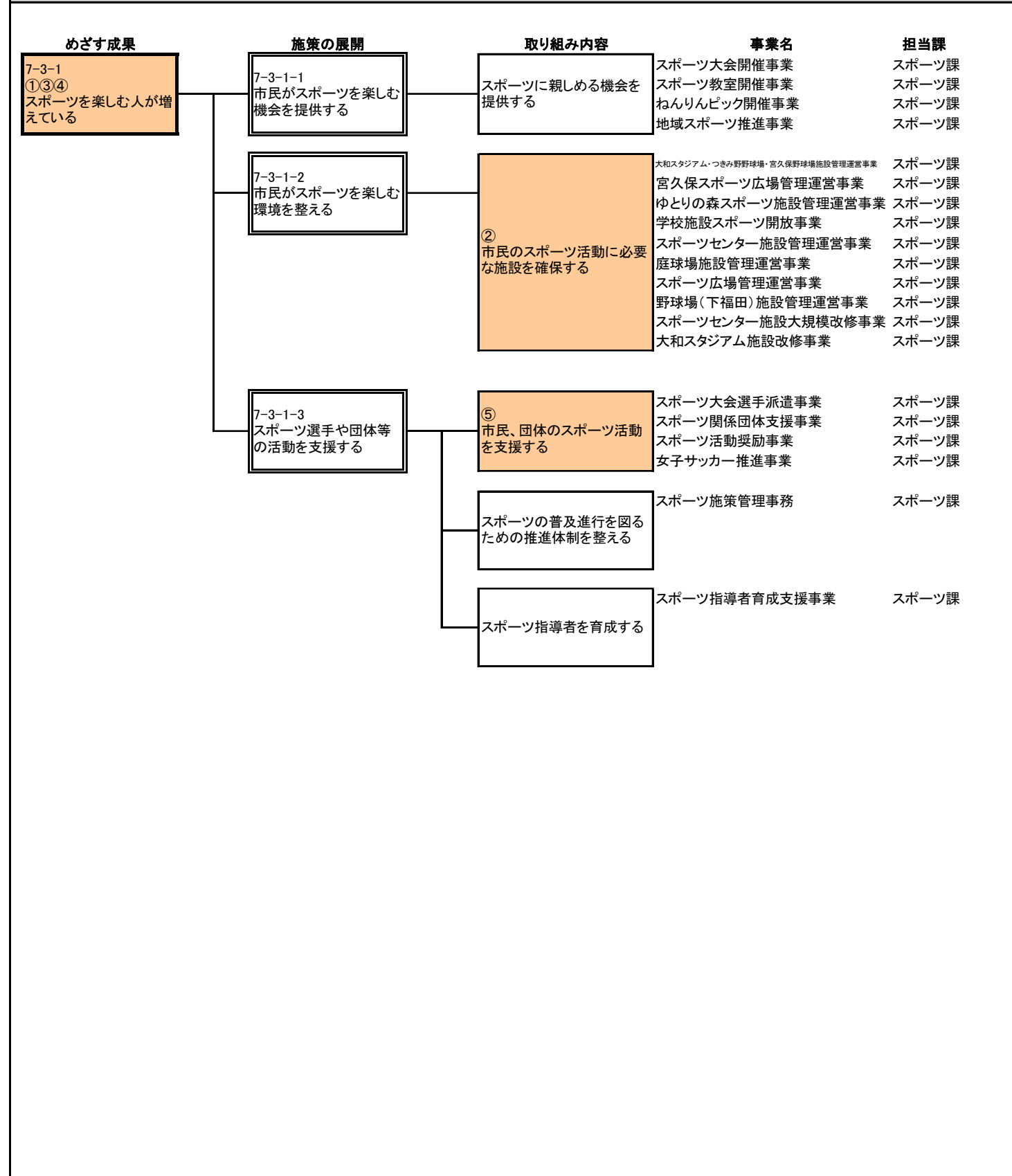
めざす成果		7－2－1		文化や芸術に親しむ人が増えている		
主要な 事務事業の 内容	事務事業名		R1決算額	R2決算額	R3決算額	R4予算額
			法令等の義務	実施手法	財源構成	
	事務事業の目的					
	芸術文化ホール管理運営事業		285,242	284,774	289,722	290,343
			一部有	直営・委託・指定管理	一財	
	やまと芸術文化ホールの円滑な管理運営を行います。					
	美術鑑賞推進事業		6,561	3,410	6,018	6,157
			一部有	委託	一財	
	美術鑑賞教育の推進を図ります。					
	文化芸術振興事業		14,361	8,234	4,613	9,020
一部有			直営・委託	他・一財		
市民の文化芸術活動の発表の場及び芸術鑑賞の機会を提供します。						
文化創造担い手育成事業		1,883	1,587	2,008	2,130	
		一部有	直営	一財		
これからの文化創造を牽引する若い世代の発表活動の支援を行うとともに、市民が日常生活の中で文化芸術を感じ、楽しめる機会を提供します。						

めざす成果		7－2－2		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
主要な 事務事業の 内容	事務事業名		R1決算額	R2決算額	R3決算額	R4予算額
			法令等の義務	実施手法	財源構成	
	事務事業の目的					
	地域歴史資料整理・保存事業		1,674	2,002	1,224	1,820
			無	直営	一財	
	地域の歴史的資料を市民共通の財産として将来にわたり引き継ぐとともに、活用可能な状態とします。					
	文化財普及啓発事業		496	873	564	604
			無	直営	一財	
市民に身近な文化財を知ってもらうことで、郷土意識を高めます。						

【注釈】	<法令等の義務>	法律または政省令による事業実施根拠の有無
	<実施手法>	直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
	<財源構成>	一財：一般財源 国：国庫補助金等 県：県費補助金等 市：市債 他：その他特定財源

令和４年度施策評価（一次評価）		
健康領域	社会の健康	
基本目標	7	豊かな心と感動が広がるまち
個別目標	7－3	地域のスポーツ活動を推進する
めざす成果	7－3－1	スポーツを楽しむ人が増えている

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



◎所管部長：文化スポーツ部長 大下 等	(単位：千円)			
	総事業費 (予算)	H31(R1) 570,620	R2 503,766	R3 387,687

成果を計る主な指標		前期基本計画期間（Ｒ１～Ｒ５年度）					
		計画当初値	実績値 （Ｒ１）	実績値 （Ｒ２）	実績値 （Ｒ３）	中間目標値 （Ｒ３）	最終目標値 （Ｒ５）
①	週１回以上スポーツをしている市民の割合	５９．７％			６４．６％	６３．３％	６５．１％
②	市民１人あたりの公共スポーツ施設年間利用回数	５．９４回	５．３６回	２．８５回	３．７０回	６．１３回	６．２６回
③	年１回以上直接会場でスポーツを観戦した市民の割合	３４．３％			１７．０％	３６．３％	３７．３％
④	スポーツに関わるボランティア活動を経験したことがある市民の割合	１６．９％			１６．０％	１８．９％	１９．９％
⑤	女子サッカーイベント参加者数	８，５０７人	１１，８６１人	１，８７９人	１，９８５人	９，０６０人	９，３６０人

【市民がスポーツを楽しむ機会を提供する・スポーツ選手や団体の活動を支援する】

- 基本理念に「スポーツで輝く健康都市やまと」を掲げた第2期スポーツ推進計画（計画期間：令和元年度～令和5年度）に基づき、より多くの市民がスポーツによって生涯にわたり健やかで幸せな生活が送れることを目指し、スポーツ大会やスポーツ教室、トップスポーツ観戦デー等を実施したほか、「女子サッカーのまち大和」を掲げ、ホームタウンチームである「大和シルフィード」と連携しながら、女子サッカー体験会等を行いました。
- しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、多くのイベント等が中止となり、また開催できた場合も人数制限が必要となったことなどから、イベント等の実施回数や、公共スポーツ施設への来場者数等が減少しました。

【市民がスポーツを楽しむ環境を整える】

- 大和スタジアムやゆとりの森スポーツ施設をはじめとした各スポーツ施設の管理運営事業においては、コロナ禍においても市民の運動習慣や健康維持、スポーツへの関心が低下しないよう、感染対策に配慮し制限をかけながら運営することで、市民が活動できる環境の維持に努めました。

【市民がスポーツを楽しむ機会を提供する・スポーツ選手や団体の活動を支援する】

- 各種イベントの開催方法の見直しや工夫によって、コロナ禍においても「スポーツで輝く健康都市やまと」の実現に向けた施策を、できる限り多く展開できたものと考えています。
- 週1回以上スポーツ（ウォーキングなどの軽度なものを含む）をする市民の割合が増えてきています。コロナ禍で健康への意識が高まってきたことや、2021年にはオリンピックが開催されスポーツへの機運が高まったことなどが要因と捉えていますが、この傾向を一過性のものとせず、生活の中にスポーツが定着していくよう、普及啓発に取り組んでいく必要があります。
- イベント等の開催については、制限が緩和されてきています。より多くの人がスポーツに親しめるようにするため、引き続き、感染対策をしっかりと実施しながら、イベントの開催内容等について工夫していきます。

【市民がスポーツを楽しむ環境を整える】

- 大和スポーツセンター、大和スタジアムに代表される本市のスポーツ施設の中には、建設から数十年が経過し、老朽化が進んでいる施設があります。また、比較的新しい、ゆとりの森スポーツ施設においても人工芝の劣化など、大規模な修繕が必要な施設もあります。利用する市民の安全確保の観点から、また、新型コロナの収束を見据え、多くの市民の活動の場を維持する観点からも計画的に修繕を実施する必要があります。

(単位：千円)						
めざす成果		7－3－1	スポーツを楽しむ人が増えている			
主要な 事務 事業 の 内 容	事務事業名		R1決算額	R2決算額	R3決算額	R4予算額
			法令等の義務	実施手法	財源構成	
	事務事業の目的					
	スポーツ大会開催事業		4,266	1,570	2,043	4,089
			一部有	直営・委託	他・一財	
	市民の体力向上及び競技力向上を図ります。					
	スポーツ教室開催事業		5,118	4,778	4,746	5,497
			一部有	委託	一財	
	スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供します。					
	地域スポーツ推進事業		11,918	1,100	1,893	6,265
			一部有	直営	他・一財	
	市民が主体的にスポーツに取り組み、世代を超えた交流が促進されるよう、地域スポーツの推進を図ります。					
	大和スタジアム・つきみ野野球場・宮久保野球場施設管理運営事業		55,979	56,822	70,087	63,047
			一部有	委託・指定管理	他・一財	
	野球場施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。					
	ゆとりの森スポーツ施設管理運営事業		37,962	32,560	31,920	32,519
			一部有	指定管理	一財	
	ゆとりの森スポーツ施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供します。					
	スポーツセンター施設大規模改修事業		0	0	12,848	0
			有	直営	市・一財	
	施設の適正な機能水準を維持し、安全で快適なスポーツ環境を整えます。					
	スポーツ関係団体支援事業		4,001	3,995	3,990	4,221
			一部有	直営	一財	
	市民の体力向上、スポーツ精神の養成、青少年の健全育成等を図ります。					
	女子サッカー推進事業		5,319	3,205	3,142	5,310
			一部有	直営	一財	
	地域スポーツの推進を図るため、女子サッカーに取り組む市民の活動を支えます。					
【注釈】						
<法令等の義務>		法律または政省令による事業実施根拠の有無				
<実施手法>		直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り				
<財源構成>		一財：一般財源 国：国庫補助金等 県：県費補助金等 市：市債 他：その他特定財源				